

『世界の覇権国の変遷』

現在は米国が世界の覇権を握っています。

しかし、歴史を振り返ると、世界の覇権国は変遷してきました。
世界の覇権は、“エネルギーの獲得と利用”によって決まります。
今から、蛇足を交えながら、世界の覇権国の変遷を説明します。

技術士（総合技術監理部門・化学部門）

池田和人技術士事務所 代表

池田 和人（いけだ かずと）

[住所] 〒510-0086 四日市市諏訪栄町4-10 アピカビル3F MG-YOKKAICHI 内

[メール] spuk3vz9@outlook.com

[電話] 090-9890-4559

[事務所HP] <https://www.kazuto-ikeda.com/>

[マイ・ベスト・プロ] <https://mbp-japan.com/mie/kazuto-Ikeda/>

世界の覇権の変遷

覇権国

(15~16世紀)
スペイン
大航海時代

(17世紀)
オランダ
東インド会社

(18~19世紀)
イギリス
東インド会社

(20世紀~)
米国
石油、自動車
→IT...

日本の時代

戦国時代

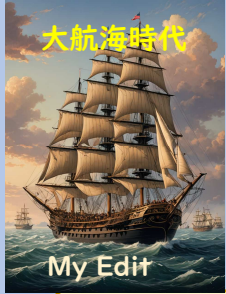
(1573~1603)
安土桃山時代

(1603~1868)
江戸時代
[出典] Wikipedia
“徳川慶喜”



(1868~1926)
明治時代
大正時代

(1926~)
昭和時代
平成時代
令和時代



1945年2月14日。サウジアラビアのイブン・サウード国王と米国のフランクリン・ルーズベルト大統領が会談。ここで米国が石油利権の半分を獲得。その後、サウジに米国スタンダード石油が進出。(英国のチャーチルは敗退)

- 1582年6月21日 本能寺の変(織田信長 死去)
- 1598年9月13日 スペイン フェリペ2世 死去
- 1598年9月18日 豊臣秀吉 死去
- 1614~1615年 大阪冬の陣、大阪夏の陣
- 1648年 ヴァストファーレン条約(オランダ独立)
- 1868~1869年 戊辰戦争・明治維新(版籍奉還)

(1568~1648)
80年戦争でオランダ独立
オランダがスペインのハプスブルク家から独立を勝ち取った。
【技術】風力エネルギーによる木工技術で船を製造。スペイン覇権時代から船はオランダが製造。オランダが独立するとスペインによる大航海時代は終わる。

蛇足:グラバー邸に出入りしていた若者が明治を創る
幕末、長州と薩摩の元気な若者がロスチャイルド家の手引で英国UCLに留学。ロンドンにいる薩長の若者が互いに助け合い、日本で薩長同盟が結ばれる。香港財閥ジャーディン・マセソンの日本支店で武器商人であった長崎のグラバー邸には、薩長の若者が出入り。その若者たちが明治時代を創ることになる。
[長州五傑(留学)] 井上聞多(馨)、遠藤謹助、山尾庸三、伊藤俊輔(博文)、野村弥吉(井上勝)
[薩摩留学生(留学)] 五代友厚、寺島宗則、森有礼・・・
[土佐出身] 坂本龍馬、岩崎弥太郎・・・
※ ジャーディン・マセソン、スワイヤーは今でも香港の英国系の大財閥。

(18世紀後半~19世紀前半)
イギリスで産業革命
【技術】石炭エネルギーで蒸気を作り船を動かす。イギリスは産業革命で急躍進。

(第1次・第2次大戦後)
戦場にならなかった米国が躍進
【技術】石油エネルギーからフォードの自動車。大量生産・大量消費の時代に。

渋沢栄一は、徳川慶喜と平岡円四郎に見込まれ、農民から武士に。幕末は幕府使節団としてパリに。明治が始まると、政府の大蔵省に。そして、政府を出てから500社を創る。パリ赴任当時(28才)、金勘定が得意だった渋沢栄一はロスチャイルドのパリ家に見込まれる。

(第1次大戦後)
ウォール街の躍進
戦争で西欧に戦費を融資したのも、ドイツに戦時賠償金を融資したのもウォール街。

- 1914~1915年 第一次世界大戦
- 1941~1945年 第二次世界大戦

第一次大戦後、米国ウィルソン大統領が国際連盟を創るが、米国は加入せず。モルガン家は大統領より強かった。

自国で戦争をすると貧乏になる

【戦争をする場合のお金の流れ】

時期	戦争をする国		戦争をさせる国
戦争前	お金を借りる	← お金	お金を貸す
戦争中	武器を買う	→ お金	武器を売る
戦争後	借りたお金を返す	→ お金	貸したお金を回収する

- 第一次世界大戦…戦時中、英仏はウォール街からお金を借りてドイツと戦う。戦後、ドイツは高額な戦時賠償を課され、ウォール街に頼る。戦後、ウォール街→ドイツ→英仏→ウォール街でお金が回る。ドイツが借金を返し終わったのは2001年。ちなみに日本が日露戦争の借金を返し終わったのは1980年代。(英仏はドイツからの戦時賠償により救われる。)
- 第二次大戦後の英国病…英国病は労働党の福祉国家政策により国民がやる気をなくしたからと言われるが、実際には戦時中の借金が原因。第二次大戦では敗戦国ドイツからの戦時賠償はなく、大英帝国時代の植民地は次々に独立。カナダをはじめとするコモンウェルス諸国は、米国の接近により英国から距離を置く。英国はのちにECに頼るが、シャルルドゴールが猛反発。彼の死後、英国は1972年にようやくECに加盟。しかし、EUで英国は元気がなく、英国はEUから離脱する。
- イラン革命後のイラン・イラク戦争(1980-1988)…1979年にイラン革命が起こり、イランの石油利権は英米からイラン国営に。その翌年、イラクのフセインは、米国からお金を借りて米国から軍備を買い、イランと戦った。フセインは、その後の湾岸戦争(1991)で米国(ブッシュ(親)大統領)の敵に。のちのイラク戦争(2003)でブッシュ(子)大統領により暗殺される。

【敗戦した日本はなぜ成長したのか】

時期	戦争をした国		戦争をさせた国
復興期	経済援助を受ける (日本はMSA協定：1954年)	← お金	経済援助を与える

世界の覇権は技術による

(世界の覇権を握るためには)

“エネルギーの獲得と利用”がカギである。

(現在の米国)

- 世界1位の名目GDP
- 世界3位の人口 (3.3億人)
- 世界3位の工業
- 世界1位の農業
- 世界1位の資源
- 世界1位の金融

米国は資源国だが、工業国なので資源の輸出は基本的に行っていない。

(日本にも資源が)

南関東ガス田 (千葉・東京)
南長岡ガス田 (新潟)
九州沖南西 (九州南部沖)
茨城県 (原油) ..

地下水による地盤沈下を防ぐ採掘技術が急務である。

技術を有する日本が資源を獲得できればどうなるか。

例えば、トヨタガス田、ホンダガス田、ソニーガス田ができたらどうなるか。



南関東ガス田 (600年分)
(関東天然瓦斯開発HP)
<https://www.gasukai.co.jp/gas/index4.html>
太平洋

覇権国

日本の時代

(15~16世紀)

戦国時代

スペイン
大航海時代

(1573~1603)
安土桃山時代

(17世紀)

(1603~1868)

オランダ
東インド会社

江戸時代
[出典] Wikipedia
“徳川慶喜”



(18~19世紀)

(1868~1926)

イギリス
東インド会社

明治時代
大正時代



(20世紀~)

(1926~)

米国
石油、自動車
→IT...

昭和時代
平成時代
令和時代

(1568~1648)

80年戦争でオランダ独立 (ヴァストファーレン条約)

(オランダ) 風力エネルギーで世界の覇権を握る

1648年、オランダがスペインのハプスブルク家から独立を勝ち取った。

風力エネルギーによる木工技術で船を製造し、東インド会社を設立。オランダはスペイン覇権時代から船を製造していた。よって、オランダの独立により、スペインは大航海時代を維持できなくなった。

(18世紀後半~19世紀前半)

イギリスで産業革命

(イギリス) 石炭エネルギーで世界の覇権を握る

石炭で蒸気を作り船を動かす。東インド会社が船を使って国際貿易。ビクトリア女王 (在位1837-1901) は大英帝国を築く。ビクトリア女王は、子供や孫を欧州各国の君主と政略結婚させる。

イギリス国王のジョージ5世、ドイツ皇帝のヴィルヘルム2世、ロシア皇帝ニコライ2世の妻アレキサンドラはビクトリア女王の孫。ロシア皇帝ニコライ2世本人もドイツ皇帝ヴィルヘルム2世と顔が瓜二つで、ビクトリア女王と血のつながりがあるものと言われている。

(第1次・第2次大戦後)

戦場にならなかった米国が躍進

(アメリカ合衆国) 石油エネルギーで世界の覇権を握る

石油エネルギーから自動車へ。大量生産・大量消費の時代。米国ペンシルバニアで油田を掘り当て、この採掘技術を中東に展開。中東の石油利権を握った。また、フォードが自動車の大量生産を行う。

(第1次大戦後) ウォール街の躍進

(アメリカ合衆国) 銀行家が世界の覇権を後押し

イノベーションの巨匠“ヨゼフ・シュンペーター”は、創造的破壊による新結合には銀行家の存在が重要だと説いた。欧州のロスチャイルド家と米国のモルガン家がウォール街から世界の覇権を握る。

世界の覇権は技術による

(世界の覇権を握るためには)

“エネルギーの獲得と利用”がカギである。

(現在の米国)

- 世界1位の名目GDP
- 世界3位の人口 (3.3億人)
- 世界3位の工業
- 世界1位の農業
- 世界1位の資源
- 世界1位の金融

米国は資源国だが、工業国なので資源の輸出は基本的に行っていない。

(日本にも資源が)

南関東ガス田 (千葉・東京)
南長岡ガス田 (新潟)
九州沖南西 (九州南部沖)
茨城県 (原油) ..

地下水による地盤沈下を防ぐ採掘技術が急務である。

技術を有する日本が資源を獲得できればどうなるか。

例えば、トヨタガス田、ホンダガス田、ソニーガス田ができたらどうなるか。



(1568~1648)

80年戦争でオランダ独立 (ヴァストファーレン条約)

(オランダ) 風力エネルギーで世界の覇権を握る

1648年、オランダがスペインのハプスブルク家から独立を勝ち取った。

風力エネルギーによる木工技術で船を製造し、東インド会社を設立。オランダはスペイン覇権時代から船を製造していた。よって、オランダの独立により、スペインは大航海時代を維持できなくなった。

(18世紀後半~19世紀前半)

イギリスで産業革命

(イギリス) 石炭エネルギーで世界の覇権を握る

石炭で蒸気を作り船を動かす。東インド会社が船を使って国際貿易。ビクトリア女王 (在位1837-1901) は大英帝国を築く。ビクトリア女王は、子供や孫を欧州各国の君主と政略結婚させる。

イギリス国王のジョージ5世、ドイツ皇帝のヴィルヘルム2世、ロシア皇帝ニコライ2世の妻アレキサンドラはビクトリア女王の孫。ロシア皇帝ニコライ2世本人もドイツ皇帝ヴィルヘルム2世と顔が瓜二つで、ビクトリア女王と血のつながりがあるものと言われている。

(第1次・第2次大戦後)

戦場にならなかった米国が躍進

(アメリカ合衆国) 石油エネルギーで世界の覇権を握る

石油エネルギーから自動車へ。大量生産・大量消費の時代。米国ペンシルバニアで油田を掘り当て、この採掘技術を中東に展開。中東の石油利権を握った。また、フォードが自動車の大量生産を行う。

(第1次大戦後) ウォール街の躍進

(アメリカ合衆国) 銀行家が世界の覇権を後押し

イノベーションの巨匠“ヨゼフ・シュンペーター”は、創造的破壊による新結合には銀行家の存在が重要だと説いた。欧州のロスチャイルド家と米国のモルガン家がウォール街から世界の覇権を握る。

覇権国

日本の時代

(15~16世紀)

スペイン

大航海時代

戦国時代

(1573~1603)

安土桃山時代

(17世紀)

オランダ

東インド会社

(1603~1868)

江戸時代

[出典] Wikipedia
“徳川慶喜”



(18~19世紀)

イギリス

東インド会社



(1868~1926)

明治時代

大正時代

(20世紀~)

米国

石油、自動車

→IT...

(1926~)

昭和時代

平成時代

令和時代